

- city. WMO. -No. 632. 1-25.
- , 1974: Review of urban climatology 1968-73. WMO Techn. Note. 134 (132)
- , 1979: Review of urban climatology 1974-76. WMO Techn. Note. 169 (100 p)
- Peppler, A., 1929: Das Auto als Hilfsmittel der Meteorologischenforschung. Z. f. Angew. Met. 46: 305.
- Peterson, J.T. 1969: The climate of cities; A survey of recent literature. US Dept. Health. Education and Welfare. 48 pp.
- Park, H.S., 1986: Features of heat island in Seoul and its surrounding cities. Atmos Environ. 20, 1859-1866.
- Schmidt, W., 1927: Die Verteilung der Minimumtemperaturen der Frostnacht des 12. 5. 1927 in Gemeindegebiet von Wien. Fortschr. Landwirtschaft. 2, 681-688.
- WMO 1986: Urban climatology and its applications with special regard to tropical areas. (Proceedings of the Technical Conference held at Mexico D.F., 26-30 November 1984) WMO-No. 652. 534 pp.
- Yamashita, S., 1988: Some studies of heat island in Japan-with special emphasis of the climatological aspects. Geogr. Rev. Japan. 61. Ser. B. No. 1. 1-13.

新用語解説について

天気編集委員会では、「天気」をより親しみやすく読みやすいものにしていくために、様々な企画を行っていますが、その1つとして、「用語解説」を復活させることになりました。天気の「用語解説(新語解説)」は、1971年から1976年まで6年間にのべ67回(用語数は128)にわたって掲載され、その時々トピックに関係した用語や、基本的な用語をわかりやすく解説したものと好評でしたが、言葉の選択(新語の種切れ)などの問題で終了していたものです。

その後、10年以上を経過し、気象の様々な分野で新しい言葉が誕生し、また、ますます多くの略語が使われるようになっていきます。しかも、気象の分野の多様化・専門化も激しく、少し疎遠な分野の言葉には見当もつかない言葉があると思います。そのような用語、また、基本的な言葉でも重要なわかりにくいもの、誤って使われやすいものなどを、専門以外の人にもそのイメージ(重要性)がつかめるように分かりやすく解説してもらおうという趣旨で行っていきたいと思います。

掲載は、今月号から、毎月1つ、なるべく説明のための図をつけていただいて1ページの子定ですが、新用語の言葉だけの解説の場合などは、半ページからとしたい

と思います。上部のタイトルの分を除いて25字×37行=925字が半ページ、1850字が1ページです。

編集委員会でも対象用語を選択中ですが、読者の皆さんからも、(1) 解説して貰いたい希望の用語、および、(2) 自分が使っていて宣伝したい用語の解説原稿、をお寄せいただけたら、と思います。図の分を差し引いて字数を決めて下さい。

なお、1971年から1976年までの「用語解説・新語解説」で取り扱われた用語は、気象学会100周年記念「天気」特別号(1982年)4月号の索引に載っています。いろいろな略号については、「国際学術団体について」(1972年1月用語解説)や、「気象学・海洋物理学研究者のための略語集」(1975年10月)がありますので、どうぞご利用ください。

用語解説希望用語、用語解説原稿のあて先は、

① 天気編集委員会

もしくは、担当編集委員の

② 〒164 東京都中野区南台 1-15-1

東京大学海洋研究所 中村晃三

です。読者のみなさんのご協力をお願いします。